

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、新津圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和5年10月3日（火）9時半から11時まで
参加者	委員：10人 事務局：6人 その他：6人（市役所・区役所・地域包括支援センター）
場所	可美協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 挨拶 可新生活支援体制づくり協議体 会長</p> <p>3. 協議内容</p> <p>① 前回会議の振り返り 前任 SC より、第1回可新生活支援体制づくり協議体について報告をした。</p> <p>② 情報共有</p> <p>③ 意見交換 テーマ：各地区における今後の取り組みについて 地区ごとに分かれて、意見交換をした。</p> <p>〈可美地区グループワーク報告〉</p> <p>① サロンたかつかへの遠鉄ストア移動スーパーの活用について 高塚町の一部では買い物できる場所まで距離がある。以前、集会所で開催しているサロンへの移動スーパーの依頼をしたが、日程が合わず調整がつかなかった。 (株)遠鉄ストアに店舗にて新たに移動スーパーを導入する情報があり利用できる可能性が高いが、お試しで利用はどうか？ ➡良いと思う。サロンたかつかは毎月第1月曜日13：00～15：00。 活動が終わる15：00頃に来てもらえたら良い。参加者に声をかけることもできる。 ➡市社協にて(株)遠鉄ストアの担当者と会う機会があるため、調整する。</p> <p>② 浜松市地域福祉アンケート調査 結果報告書について 前回、可美地区全体の様々な世帯がどのようなニーズを持っているかアンケートをとりたいとの意見があった。令和5年2月に浜松市が浜松市地域福祉アンケート調査 結果報告書というものを発表している。参考になると思われる。 ・P78 誰もが気軽に集まれる居場所がないにおいて、全区では「どちらともいえない」が一番多い中、南区のみ「ややそう思う」が多い。 ・P88 問5 あなたやあなたの家族が高齢になったり、病気や事故などで日常生活が不</p>

自由となったりしたとき、地域で何をしてほしいですかという質問に対し「声かけ」と「話し相手・相談相手」と答えた人が非常に多い。（南区も他区も）

➡誰もが気軽に集まれる居場所が求められているかも？

➡以前、困っている人がギリギリの状態になってやっと相談にくることが多い。状況を早く把握したり、相談しやすい関係性をつくったりするためにも居場所づくりが大切だと思うとの意見があった。

➡可美地区では、増楽町のみサロンがなく、地区の民生委員が増楽町にて居場所づくりを進めている。その後の進捗はどうか？

⇒増楽町は、一緒に運営に携われる協力者が見つからず、進展せずにいる。

⇒若林町北もサロンがないが、立ち上げや運営のリーダーとなる人がいない。

自治会では、居場所があればいいなという声も聞こえてきている。

⇒可美地区では以前、ピーチ可美という団体が各町を回ってサロンを展開していた。しかし、メンバーが高齢化していき、解散した。一時的にリーダーや協力者がいても、その後継者を見つけることも課題である。

⇒若林町では、若林会館が町の西端に位置していきづらいため、中心部に位置する廣隣寺を借りてサロンを開催している。空き家を利用できたらという意見もある。若林町の中心部には、可美市民サービスセンターがあるため、そこで開催できたらと思うが、老朽化により利用できない。令和8年に建て替える。その際に南消防署も移転してくる。その中の会議室を貸し出してくれたり、地域向けの部屋をつくってくれたりすると良い。→交渉してみる余地があるかもしれない。

居場所の課題キーワード：リーダー／協力者・スタッフ／後継者・持続性／場所

〈新津地区グループワーク報告〉

### ① 移動支援について

・10/4に中区役所で担当者から制度についてレクチャーを受けた後、北区役所に移動して引佐みどり号の視察を行う予定。また庄内地区で検討している共助型システムも参考にしながら新津地区にあった方法を考えていきたい。

・浜北や浜松くるも一律100円だったが、すでに撤退している。ボランティアではなく採算ベースを度外視しては持続できない。事業展開を顧客目線で考えることが大切。

### ② 買い物支援について

・移動販売について必要か不要か、何処に来て欲しいか等、回答しやすいように項

	<p>目を絞ってアンケートを実施したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠鉄は見守りにも重点を置いている特徴があり、融通が利く印象。特徴の違いで選択肢が増えるのは良い。</li> <li>・店舗より値段が高い、ポイントも付与されないマイナス面もあるが、重い物を運んでもらえるなどの利点を感じられればニーズはあるのではないか。選ぶのはお客さん。高くても価値があると感じてもらえることが大切。</li> </ul> <p>地区によって助かる人も出てくると思うし、うまく利用していきたい。大事にしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売の選択肢も大切だが、移動販売以外の手段も大切。動けないから来てだけじゃなく、早いうちからスマホの操作について学び、オンラインで買い物できるスキルを身に着けた方が自立につながる。</li> <li>・新橋のシニアクラブ連合会で12/6にスマホ講座を予定。習熟度の個人差が大きい為、シリーズ化で開催を考えている。</li> </ul> <p>◆持続可能な取り組みのためには採算ベースを意識する事と、供給者側の視点だけでなく顧客目線での検討が欠かせない点と共助に頼らず、助け合う事や助けを求めるにはどうすれば良いか主体的に考えることが必要との意見が多く出されていた。</p> <p>4. 次回の協議体会議の日程について  日時：令和6年1月30日（火） 9：30～11：00  会場：新津協働センター ホール</p> <p>5. 連絡事項  特になし。</p> <p>6. 閉会 可新生活支援体制づくり協議体 副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>〈新津地区〉</p> <p>12月に新橋のシニアクラブ連合会がスマホ講座を開催予定。今後継続しての開催が予想され、内容によってはインターネットでの商品を購入等といった買い物支援につながる可能性がある為、訪問・取材を行う。</p> <p>移動支援については、新津地区に合った方法を考えていくため、引き続き移動支援についての情報収集を進めていく。</p> <p>〈可美地区〉</p> <p>以前高塚北公民館で開催しているサロンに(株)杏林堂薬局のとくし丸を呼ぼうとしたところ、日程が合わず呼べなかったことがあった。12月から稼働する(株)遠鉄ストアの新橋号をサロンに呼ぶことができるように市社協で調整する。</p>

